小松川平井地区委員会だより

発行：江戸川区青少年育成小松川平井地区委員会　編集：広報部

第５２回　小松川平井マラソン大会
令和７年１月１２日（日）

荒川河川敷にて、第52回小松川平井マラソン大会が、754名（前大会比9名増）の参加者により開催されました。
199名の関係者のうち、小松川中学校・小松川第二中学校の生徒99名が運営に協力していただけました。
親子マラソンの部の優勝　工藤稜・篤　父子からは「お父さんと出場して勝ててうれしかったです！」とのコメントをいただきました。
また、一般の部については、男子は小松川高校陸上部の2年生中村匠杜さん、女子は同じく陸上部1年生の須田愛鐘さんが優勝し、地元高校陸上部の強さを見せつけました。
地元の小学校から高校までの多くの児童・生徒及び保護者を含む大人が参加し、寒空の下熱い戦いが繰り広げられました。

令和７年３月２９日(土)～３０日(日)

「久々に歩いたナイトウォーク」
スポーツ推進委員　中尾　彰

令和６年度も小学校卒業記念ナイトウォークが開催される運びとなった。日程は卒業式後の３月２９日土曜夜に出発、３０日日曜早朝に帰着である。これまで私は自分の子どもたちとともに何度か完歩したことがあったが、今回は９年ぶりに歩行リーダーの一員として歩いての参加となった。

開催日当日の午前中は雨が降り、本イベントの開催が多少不安視されたが、出発時刻には雨は上がっていて、無事に開催の運びとなった。

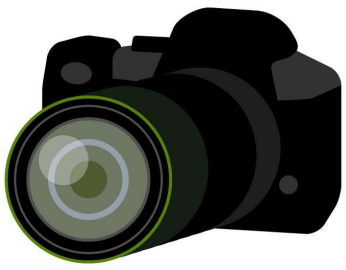
２２時に小松川小学校から出発し、私は歩行リーダーとして先頭方面で歩いた。歩きはじめてすぐに、錦糸町付近では歩道に酔客が多く、多少ながら気を遣った。そのまま両国、秋葉原、九段下を通過し、最初の休憩所である千鳥ヶ淵公園に到着した。千鳥ヶ淵周辺は桜が満開で、卒業イベントに相応しい雰囲気であった。昔の記憶では、桜がもう少しライトアップされていた印象であったが、お堀の桜は暗い淵にあり、真夜中であることを認識させられた。

休憩後、桜田門を通ってイベント中もっとも華やかである銀座へと向かった。昼間は賑やかな銀座の街並みを一般人のいない真夜中に歩くのは、毎回、自分たちが独占しているようで贅沢な時間と感じさせてくれる。そこから、永代通りを通り、永代橋経由で二度目の隅田川を渡り、次の休憩所の木場公園を目指す。

木場公園ではトイレを済ませ、おやつなどを食べる。子どもたちの疲れが出てくる時間である。そこから終盤の仙台堀川公園へと向かう。公園内は、信号もなく迷路のようで、先が見えないため疲れ、眠気がピークに達する。足の痛みが出る子や、眠気で意識の飛ぶ子が出てくる。そんな子どもたちを「もう少しだよ、頑張って」と鼓舞、応援して先を促す。私は久々に公園内を歩いたが、一木会の方が要所に立っておられ、迷わず安心して歩けたことにとても感謝した。公園を抜け、東大島駅を越え、小松川第二小学校前を通過し、無事に小松川小学校に帰着できた。

保護者も含め、子どもたちは最初で最後の経験となるイベントかもしれない。楽しかった、苦しかった、いろいろな感想はあるだろう。夜通し歩き通した達成感は、子どもたちの今後の糧になってくれることに期待したい。ともに運営に携わった関係者の皆さま、お疲れさまでした。

フォトギャラリー

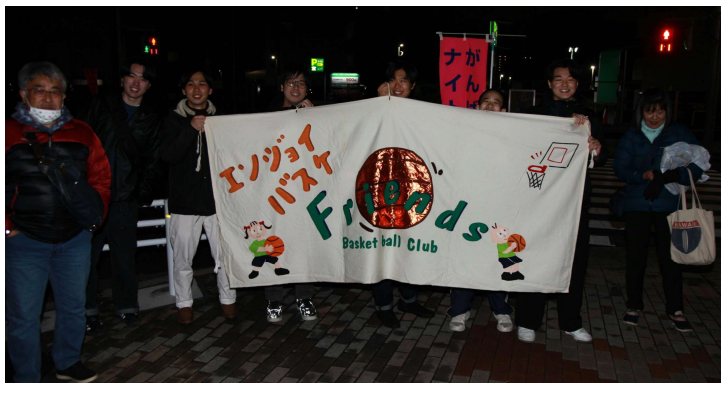


祝
平井・小松川ナイトウォーク
GOAL!!
卒業

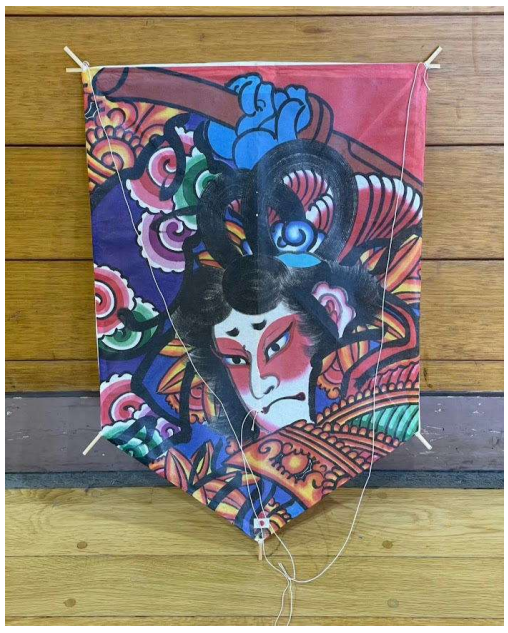
祝
平井・小松川ナイトウォーク
GOAL!!
卒業
5班

祝
平井・小松川ナイトウォーク
GOAL!!
卒業
20班
18班

がんばれ！！
必笑 二小松


エンジョイ
バスケ
Friends
Basket ball Club

凧作り・凧揚げ大会
令和７年１月２６日（日）



平井小学校にて「凧作り」を行いました。参加者１１１名（凧制作５６基）が、「江戸川凧の愛好会」蒲倉講師の指導の下、立派な江戸川凧を作ることができました。

その後、荒川河川敷に移動して「凧揚げ大会」を行いました。雲ひとつないいい天気でしたが、想定外の強風。すぐに落ちてしまったり、その場で小さく回転したり、最初はなかなかうまく揚げることができませんでしたが、講師に教わり、足をつけ、しなりを調整することで高く揚げることができました。

一方、強風に煽られ、紙が破け、落下して骨が折れてしまったものもありました。しかしながら、「和凧は手入れすれば100年もつ」とのこと。修理をしながら、「世界に一つの自分だけの凧」を大切に使っていただきたいと思います。

部対抗ボウリング大会＆懇親会
令和７年３月２日（日）

企画研修部の運営による「部対抗ボウリング大会」が行われました。

阿部委員長の始球式から始まり、４～５人のグループに分かれた各レーンでは様々な歓声があがる中、２ゲームを楽しみました。

その後、平井コミュニティ会館での懇親会にて、ボウリング大会の成績発表が行われ、優勝は事務局グループでした。